

資料編

(1) 上位関連計画

【花巻市総合計画】

将来都市像	<ul style="list-style-type: none"> 花巻市総合計画では、将来都市像を「早池峰の風薫る 安らぎと活力にみちた イーハートープはなまき」と設定し、その実現に向けて、2つの基本理念と6つの政策を掲げています。
基本理念	<ul style="list-style-type: none"> 「強くて優しいまちづくり」 市民満足度の高い、人に優しいまちを築くには、経済と財政の基盤が堅固な、力強い都市を築くことが必要であり、産業の振興と未来を担う人材の育成に力を注ぎます。 「市民参画・協働のまちづくり」 生活者本位のまちを創るため、行政だけではなく、市民と一緒にあって、生活者による、生活者のためのまちづくりを目指して、市民参画、市民協働の取り組みを進めます。
将来像の実現に向けた政策	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の連携強化で産業振興のまちづくり 交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり 保健・医療・福祉のネットワーク拡充で安心のまちづくり 地域で支える子育てと教育のまちづくり 都市内分権構築で市民参画・協働のまちづくり 市民本位の行政のまちづくり

【国土利用計画花巻市計画】

土地利用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな森林と農用地など環境の保全を図りつつ、都市と農村が共存する特色を活かし、地域の自然的、社会的、経済的及び文化的条件に配慮しながら、「強くて優しいまちづくり」・「市民参画・協働のまちづくり」を基本姿勢とした土地利用を進めていきます。
主要指標	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年の人口と世帯数をそれぞれ102,000人、36,820世帯と推定します。
地域別の概要	<p>西部森林地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな森林資源を水源かん養や保健、休養、土砂災害の発生防止や生態系の保全など、本市のうるおいのある生活環境を支える場として、市民参加による森林づくりなどで積極的な保全を図ります。 <p>西部地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 無秩序な宅地化を抑制し、優良な農用地の保全を図るとともに、良好な集落環境の形成を図っていきます。工業団地内の未分譲地については、企業誘致活動を促進し、工業用地としての土地利用を進めます。また、この地域には岩手の名水100選の水分地区を中心とする自然的資源、清水寺や高村山荘等の歴史的・文化的資源もあり、市民の心のやすらぎと豊かさを育む場としてこれらの保全に努めます。 温泉郷や県立花巻広域公園等を中心とした地域については、保健、休養、スポーツ、レクリエーションの場として自然環境の保全を図ります。

<p>地域別の概要</p>	<p>中部地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画法により指定されている用途地域は、本市の中心的役割を担う地域として、商業・業務機能・文化的機能等を配置し、活気とにぎわいのある空間の形成を図ります。また、用途地域周辺において、農用地から都市的土地利用へ転換される傾向が現れており、今後の計画的な土地利用に支障が生ずることが懸念されます。このため、優良な農用地の保全に留意しながら、必要な都市的土地利用のまとまりを確保し、農用地と宅地の調和のとれた土地利用を誘導します。工業団地周辺においては、企業の立地動向を踏まえた産業集積に必要な立地基盤の計画的整備を図ります。 ・ 宮沢賢治記念館周辺においては、今後も保健、休養、学習等の場としての機能の保全に配慮しながら、森林と観光施設が調和した観光文化拠点として保全を図るとともに、森林の整備、利用の高度化を図ります。 <p>中部北地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無秩序な宅地化を抑制し、優良な農用地の保全を図るとともに、良好な集落環境の形成を図っていきます。紫波町境には山林が広がり、戸塚森周辺には森林公園があるなど、市民の余暇や心のやすらぎと豊かさを育む場としてこれらの保全に努めます。都市化が進展する地区については、快適で安全な住みよい都市環境の確立に向けた検討を進めます。 <p>中部南地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丘陵地や猿ヶ石川沿いにある森林等については、木材生産のみならず、自然とのふれあいの場や緑地としての保全・整備を図ります。また、農用地の保全を図り、良好な集落環境の形成を図るほか、用途地域については、住宅と商業、事務所機能の調和のとれた土地利用を図ります。 <p>東部地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな森林資源を水源かん養や保健、休養、土砂災害の発生防止や生態系の保全など、本市のうるおいのある生活環境を支える場として、市民参加による森林づくりなど積極的な活用を図ります。また、農用地の保全を図り、良好な集落環境の形成を図っていきます。 ・ 森林や水面などで構成され都市的土地需要が少ない地区では、自然的土地利用の保全とレクリエーション機能の調和に適した規制・誘導手法の確立に向けた検討を進めます。
---------------	--

(2) 花巻市の現況

- ・ 現況数値の整理にあたっては、直近の国勢調査及び都市計画基礎調査が行われた平成 17 年の数値を使用していますが、より新しい調査を用いた箇所については、年次を明示しています。

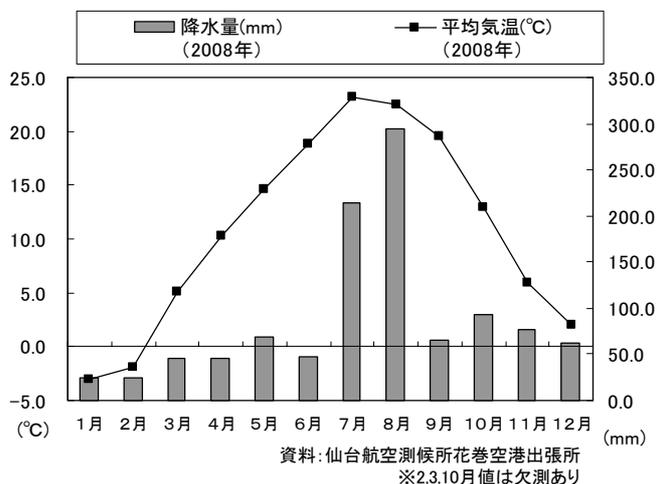
【花巻市の概況】

位置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花巻市は、岩手県のほぼ中央、西側に奥羽山脈、東側には北上高地の山並みが連なる北上平野に位置しています。 ・ 県都盛岡からの距離は約 35km、太平洋沿岸釜石から 90km、仙台から 150km、東京から 500km の位置にあります。
沿革	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 18 年 1 月 1 日、旧花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町の 1 市 3 町の合併により誕生しました。 ・ 合併により市内には、隣接して花巻都市計画区域（当初指定昭和 16 年）と東和都市計画区域（当初指定昭和 49 年）があります。
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花巻市は、岩手県中央部に位置し、東部には北上高地とその最高峰である早池峰山があり、西部には奥羽山脈が南北に走っています。 ・ 市内の中ほどを流れる北上川には、奥羽山脈より東に流れる豊沢川、葛丸川、北上山地より西に流れる稗貴川、猿ヶ石川等が合流しています。北上川に沿って肥沃な北上平野が広がっています。 ・ 平野部は内陸性盆地型気候となっており、夏場における昼夜の温度差が大きく、冬季は比較的温暖で積雪量が少なくなっています。

花巻市の位置



花巻市の気象（平成 20 年）



【人口・世帯】

人口・世帯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国勢調査によると、本市は県内でも数少ない人口増加都市でしたが、平成12年107,175人から平成17年105,028人と減少に転じています。(増減率▲2.0%) ・ 世帯数は近年一貫して増加傾向にあり、平成17年33,451世帯となっています。これを増減率で見ると、平成2年から平成7年にかけて6.5%、平成7年から12年にかけて4.3%、平成12年から平成17年にかけて1.6%と調査ごとに減少しています。 ・ 世帯当たりの人員は、平成7年3.38人/世帯、平成12年3.24人/世帯、平成17年3.14人/世帯と、減少傾向にあります。
年齢別人口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国勢調査に見る年齢3区分による人口は、平成17年、15歳未満が14,036人(13.4%)、15～64歳未満63,802人(60.8%)、65歳以上27,080人(25.8%)となっています。 ・ 人口及び構成比とも、15歳未満、15～64歳未満は減少傾向にあり、65歳以上が増加傾向にあります。
人口集中地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口集中地区(DID)の面積は、平成2年から平成17年までの15年間で370haから389haへ19ha増加していますが、地区内人口は、13,934人から12,970人へ964人減少し、人口密度も37.7人/haから33.3人/haと減少しています。 ・ 区域は、北部方向へ拡大しています。
都市計画区域、用途地域内人口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成17年における花巻都市計画区域及び東和都市計画区域の人口の合計は94,156人となっており、平成12年と比較すると減少しています。 ・ 平成17年の都市計画区域人口は、行政区域内人口の98.6%とその大部分を占めており、その割合は平成7年以降一貫して増加しています。 ・ 平成17年の用途地域人口は44,871人で、平成12年と比較すると若干減少しています。しかし、都市計画区域人口に占める割合は増加傾向にあり、平成17年には47.7%と半数近くを占めています。 ・ 人口密度は、都市計画区域、用途地域ともに減少傾向にあります。
通勤・通学による就業者及び通学者の流出入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国勢調査による通勤・通学による就業者及び通学者の流出入の状況を見ると、本市に常住し従業・通学する人数が減少しています(10.9%)。 ・ 花巻市に住んで市外で従業・通学する人数、花巻市外に住んで市内で従業・通学する人数はともに増加傾向にありますが、前者(流出)の方が上回っています。 ・ 主な流出入先としては、盛岡市や北上市、紫波町といった国道4号沿道の都市です。

人口・世帯数の推移

	平成7年 (2000年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)
総人口(人)	107,112	107,175	105,028
年少人口(0～14歳)	17,114	15,374	14,036
生産年齢人口(15～64歳)	69,687	67,485	63,802
老年人口(65歳～)	20,306	24,315	27,080
世帯数(世帯)	31,722	33,100	33,451
一世帯当たり人員(人/世帯)	3.38	3.24	3.14

年齢不詳があるため各年齢の計と総人口は一致しない。資料：国勢調査

【産業】

就業人口	<ul style="list-style-type: none"> 平成 17 年の就業人口は 53,772 人で、就業率は 59.2%です。平成 12 年と比較すると就業人口、就業率ともに減少しています。 産業大分類別の人口を見ると、第一次産業と第二次産業はともに 13.8%、16.8%の減少となっていますが、第三次産業は 0.3%の増加となっています。 産業大分類別の人口の構成比を見ると、第三次産業が半数以上を占めています。
農業	<ul style="list-style-type: none"> 平成 17 年の農家数は 7,849 戸で、平成 7 年と比較すると 1,424 戸減少しており、減少傾向にあります。 花巻市の主な農産物としては、米の他にりんご、肉用牛、豚、ブロイラーなどがあります。
工業	<ul style="list-style-type: none"> 平成 7 年以降 5 年間ごとの事業所数、従業員数、製造品出荷額等の推移を見ると、事業所数、従業員数はともに減少しています。製造品出荷額等は、平成 12 年以降は減少に転じています。
商業	<ul style="list-style-type: none"> 市内の店舗数、商品販売額は減少傾向にありますが、郊外の大型店舗の影響等もあり売場面積は増加傾向にあります。
観光	<ul style="list-style-type: none"> 市内には、数多くの温泉地があるほか、本市にゆかりのある宮沢賢治や高村光太郎、萬鉄五郎等の世界的にも著名な先人に関する施設があり、平成 17 年には県内外から 300 万人回の観光客入り込み数があります。 平成 7 年以降 5 年後との推移を見ると、県内からの入り込み数は減少していますが、県外からの入り込み数は増加傾向にあります。

【土地・開発】

土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用は、森林が最も多く市域面積の半数以上を占めています。 平成 12 年から平成 17 年にかけての土地利用の推移をみると、農用地が 357ha、森林が 119ha の減少となっており、道路が 206ha、宅地が 181ha の増加となっています。
法規制	<ul style="list-style-type: none"> 自然公園法に基づき、北上高地の中央部に位置し、早池峰山とその南に対峙する薬師岳を中心に早池峰国定公園に指定されています（総面積 5,463ha）。また、豊沢川、台川に沿って形成された各温泉地を中心に自然度が高い地域が花巻温泉郷県立自然公園に指定されています（総面積は 1,587ha）。 胡四王山は歴史的な自然環境を有する地域として、環境緑地保全地域（90ha）に指定されています。 その他、保安林や農業振興地域などの法に基づく規制区域が指定されています。
開発動向	<ul style="list-style-type: none"> 宅地開発状況は、平成 12 年から平成 16 年にかけて都市計画区域内で 50 件、104.36ha 行われています（都市計画基礎調査）。 農地転用状況は、平成 12 年から平成 16 年にかけて、都市計画区域内で合計 73.26ha 行われており、そのうち用途地域外の無指定地域が 46.08ha と半数以上を占めています（都市計画基礎調査）。
地価及び土地取引	<ul style="list-style-type: none"> 平成 15 年から平成 19 年にかけての地価は、いずれの調査地点も下落傾向にあります。特に商業地区での下落幅が大きくなっています。 平成 14 年から平成 18 年にかけての市内の土地取引状況をみると、件数は平成 17 年まで減少していましたが、平成 18 年に増加に転じています。面積は概ね増加傾向にあり、1 件あたりの面積も緩やかに増加しています。

【交通・公共施設】

<p>交通網</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県唯一の花巻空港があり、東北新幹線新花巻駅や東北縦貫自動車道、東北横断自動車道などの高速交通網が整備されるなど、北東北の高速交通網の結節点という恵まれた拠点性を有しています。 ・ 高速道路については、東北縦貫自動車道の花巻 I.C、花巻南 I.C、本市と釜石方面をつなぐ東北横断自動車道の花巻空港 I.C、東和 I.C の 4 箇所の I.C が開設されています。 ・ 平成 20 年の市内 I.C 利用台数は約 285 万台で、前年比で 0.97 倍となっています。 ・ 道路網は、本市の都市構造の主要な南北軸である国道 4 号のほか、国道が 3 路線、これに接続する主要地方道が 8 路線あります。 ・ 特に、国道 4 号と主要地方道盛岡和賀線は、盛岡市～花巻市～北上市の都市間を結ぶ広域的な骨格道路として重要な役割を果たしていますが、国道 4 号は、通過交通による渋滞が課題となっていることから、その解消に向け 4 車線化を実施しています。
<p>公共交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花巻空港では、札幌、名古屋及び大阪の便が就航しており、旅客数の合計は平成 20 年に 348,687 人で、平成 14 年以降減少傾向にあります。今後の国際線などの航空需要に対応するため、大型機就航に向けた誘導路などの整備が進められています。 ・ 鉄道は、東北新幹線、JR 東北本線及び釜石線の 3 路線があります。東北新幹線新花巻駅の平成 19 年度の 1 日平均乗車人員は 905 人となっており、利用者数は前年度と比較してやや増加しています。 ・ JR 東北本線については、花巻駅、花巻空港駅、石鳥谷駅の 3 駅、JR 釜石線については、似内駅、新花巻駅、小山田駅、土沢駅、晴山駅の 5 駅があり、通勤・通学や観光客等に利用されています。 ・ 市内のバス路線は、自家用車の普及による利用者減少に伴い、運行路線が少なくなるなど利便性が低下しています。
<p>公共施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内には小学校 25 校、中学校 11 校、高等学校 7 校、大学 1 校、専修学校・各種学校が 3 校あります。 ・ 図書館は 4 ヶ所、振興センターは 27 ヶ所、体育館は 14 ヶ所整備されており、その他、文化会館やスポーツ・体育施設、スポーツキャンプむら、鉛温泉スキー場などが整備されています。 ・ 市内の公営住宅は、市営住宅をはじめとして、県営住宅、雇用促進住宅が、平成 21 年 3 月末現在 1,590 戸あります。

【災害】

<p>災害</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市には起伏のある地形が多いため、道路や宅地に沿って土地崩壊などの危険のある箇所が散在しています。急傾斜地崩壊危険箇所が 203 箇所、地すべり危険箇所が 3 箇所、土崩土砂流出危険地が 207 箇所、山腹崩壊危険地区が 44 箇所あります。
-----------	---

【都市計画等】

<p>都市計画区域 用途地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本市の都市計画は、花巻都市計画区域が昭和 16 年（当初指定）、東和都市計画区域が昭和 49 年（当初指定）にそれぞれ都市計画区域指定が行われています。 平成 20 年度末現在、花巻都市計画区域が 20,796ha、東和都市計画区域が 9,870ha 指定されています。両区域面積の合計は 30,666ha で、市域面積の 33.8%を占めています。 両都市計画区域の用途地域面積は都市計画区域面積の 7.2%を占める 2,217ha で、大部分が都市計画の白地地域となっています。 用途地域の内訳をみると、花巻都市計画区域は、住居系用途地域が 1,363ha と最も多く、次いで工業系用途地域の 572ha、商業系用途地域の 139ha となっています。また東和都市計画区域では、住居系用途地域が最も多く 110ha、次いで商業系用途地域の 21ha、工業系用途地域の 12ha となっています。
<p>道路</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成 20 年度末現在、本市の都市計画道路は花巻都市計画区域で 68 路線、東和都市計画区域で 13 路線の計 81 路線、総延長 162.41km が指定されており、そのうち改良済みが 80.90km で総延長の 49.8%となっています。
<p>公園</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成 20 年度末現在、市内には、身近な公園である街区公園や近隣公園、広域的な利用に供する運動公園などの都市公園が 63 箇所、175.65ha 供用されています。 都市計画決定している公園面積は 191.69ha で、そのうち 175.65ha を供用しており、供用率は 91.6%となっています。
<p>排水処理施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成 20 年度末現在、公共下水道の全体計画については、花巻市計画区域が処理面積 3,447ha、処理人口 61,200 人で、東和都市計画区域が処理面積 254ha、処理人口が 5,400 人となっています。このうち、整備状況については、花巻都市計画区域が処理面積 1,789ha、52,410 人、東和都市計画区域が、133ha、2,985 人となっています。 各都市計画区域の水洗化率は平成 20 年度末現在、花巻都市計画区域で 86.8%、東和都市計画区域で 66.0%となっています。なお、県全体の水洗化率は 85.1%となっています。 また、農業集落排水施設については、計画面積が 766.6ha で、そのうち整備面積が 661.1ha となっています。
<p>その他都市施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画決定されている都市施設については、昭和 53 年に計画決定した花巻地区ごみ処理場（2.5ha）と昭和 63 年に計画決定した石沢火葬場（8,200 m²）があります。また、流通業務団地として平成 10 年に花巻流通業務団地（36.9ha）、市場として平成 19 年に花巻卸売市場（35,200 m²）を計画決定しています。
<p>市街地開発事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業は、昭和 23 年に施行された花巻地区の戦災復興区画整理にはじまり、平成 20 年度末までに 20 地区、434.57ha が施工済となっています。 市街地再開発事業はこれまで実施されていません。
<p>地区計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> 花巻市の地区計画は、昭和 60 年に街路事業を施工した石鳥谷駅前地区（7.8ha）が最初で、次いで平成 4 年に良好な住環境の創出と保全を図る地区として土地区画整理事業を施行した星が丘地区（45.9ha）、平成 13 年に、良好な居住環境の創出と定住人口の誘導を目指し、不動上諏訪地区（22.5ha）でそれぞれ計画決定しています。